

2019年6月2日(日) ムギイカ 美浜釣舟センター 宝生丸 美浜町早瀬  
大潮:旧4月29日 満潮 13:15(30cm) 干潮 20:32(2cm) 満潮 翌日03:28(24cm) 敦賀  
ムギイカ 8杯

15:00 現地着・受付	20:32 干潮 2cm (敦賀)
16:30 釣り座抽選	24:00 納竿
17:00 出船	01:30 港着
18:30 釣り開始	

【ムギイカ仕掛け】 お客が9人だったので、竿が2本出せた。

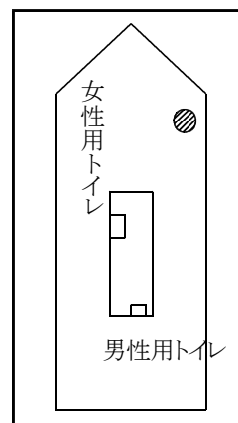
幹糸4号、枝間1.2m、上糸1.2m、  
上から

魚形プラズノ(水色)  
ハイブリッド鈎(赤緑)  
プラズノ透明ピンク  
浮きスッテ2.5号赤白  
プラズノ透明

魚形プラズノ(水色)  
ハイブリッド鈎(赤緑)  
プラズノ透明ピンク  
浮きスッテ2.5号赤緑  
魚形プラズノ(透明)

水中ライト

おもり 60号、80号、100号、120号を持参 (今日は一日80号だった)



### 【竿】

YOIKA BB 7:3調子 リーダーなし

ライトゲーム モデラート リーダー:フロロ7号5m

今回のリーダーには意味がない。前回に付けたものをそのまま使用した。

### 【料金】

○船代 ¥12,000 (氷付き)

### 【様子】

○風が強めに吹いている。15時ごろに酔い止めを飲んだ。乗船の2時間前だった。酔わなかった。

○お客さんは9人だったので、竿を2本出すことができた。

○今日は、昨日とは違う場所でやるとのことだった。

○18:30、釣り開始となった。「水深240m、130mから上を探ってください。」とアナウンス

○まだ、明るかったので、本来なら底を狙いたかったが、水深240mでは無理だと思った。それでも一度だけ、底まで落とした。当たりはなかった。

○常連さんが、「20時ぐらいまでは釣れないよ。いつも釣れ始めるのは20時くらい。」と言っていた。実際、釣れ始めたのはそれくらいの時間だった。

- 落とし込みは「2mを2回に分けて落とし待つ。待つ時間は当たりを確認する程度。カウントにして5～8。」を実行した。113mでキャッチ。しばらくして、140mで掛かった。
- 巻き上げは「カウント8で2m巻き上がるスピードで巻き、2mごとにシャクリを入れる。」
- 100mから150mを往復で誘うことにした。
- イカを取り込んで、落としていったとき、18mくらいで当たりがあった。掛かっていなかった。再度、投入したら18m付近で当たりがあり、取り込むことができた。
- 一杯追加して4杯となった。その後、さっぱりダメ。隣の人にはぼつりぼつりと釣れている。隣の人と誘い方が違うが、自分の誘い方が悪いとは思わないし…。
- 釣れている水深を伺った。「釣れるところが一定しない。先ほどは90mだった。」とのこと。
- 「釣れないスツテでやっても釣れないよ。数を伸ばそうと思うなら、面倒でもスツテを変えた方がいい。」と隣の人にアドバイスをもらった。
- 予備の仕掛けを1つしか持っていなかったのものでそれに換えた。  
浮きスツテ2.5号 上から赤緑、赤白、エギ2号(ゴールドあじラトル入り)、赤緑、赤白
- 仕掛けを変えてしばらくしたら減灯した。このとき、たまたま仕掛けを上げていたので、フォールしたら、17mでヒット(&ゲット)、続いて19mでヒット(&ゲット)。
- 終了時刻に近づいてきた、筆サイズのイカをゲット。更に一杯追加。浅いところで当たるようになってきた。終了間際に裏の人とお祭りとなり、あきらめた。
- 「いつも終了時刻に近づくと当たるようになる。」 乗船前の船長のつぶやき通りとなった。
- 常連さんにスツテについて伺った。
  - ・おっばいスツテでないと釣れない。以前はプラヅノとおっばいスツテで釣れていたが、…。
  - ・今日は同じスツテ(同じ色のおっばいスツテ)にばかり掛かってくる。日によって、よく釣れる色が変わる。いろいろな色を付けて、よく釣れる色を探す。釣れない色は換える。
  - ・緑と青はよく釣れる。
  - ・十字に模様の付いているものもよい。ムギイカは派手な色によく掛かる気がする。  
(購入するときにお店で聞いてみよう。)
  - ・もうすぐマイカが釣れ始める。浮きスツテでは、赤緑、赤白、赤は定番で外せない。その間に、おっばいスツテを入れるという方法もある。
  - ・おっばいスツテの号数は2.5号。
- 乗船前に落とし込みについて船長が話題にしていたので、落とし込みはどのように誘うのか尋ねた。
  - ・調整ネジで落下速度を調整して落とすだけ。釣れなければ、高速で巻き上げて、再度落とす。

※次回のムギイカ釣りでは、おっばいスツテで釣ることにしよう。